

魅力あふれる一地域一観光を推進します！ ～「観光地域づくり実践プラン」募集開始～

国土交通省では、1月20日より、市町村が設置する協議会等を対象に「**観光地域づくり実践プラン（観光圏準備型）**」※資料1の募集を開始します。

観光地域づくり実践プランは、国内外の観光客の増加、地域の経済活性化などを目的とした、地域の幅広い関係者が一体となって進める観光を軸とした地域づくり（観光地域づくり）の取組みを支援するもので、平成17年度から実施しております。

なお、観光圏整備支援型については随時募集しております。

募集スケジュール（観光圏準備型）

平成21年1月20日	募集開始
3月6日	応募締切
4月下旬	選定

添付資料

- ・資料1：観光地域づくり実践プランの概要
 - ・資料2：観光地域づくり実践プラン 過年度選定地域実施事例
- ※応募要領等については、下記アドレスをご参照下さい。

(<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/kankoplan/index.htm>)

※当発表は東北版であり、国土交通本省において「全国版」の記者発表をしております。

発表記者会：宮城県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局	
代表 022-225-2171	
企画部 企画課長	岩崎 等（内線3151）
国土交通省 東北運輸局	
代表 022-380-1001	
企画観光部 観光地域振興課長	佐藤 一男

◆観光地域づくり実践プランの概要

実践プランとは、観光圏の形成を図ろうとする単独又は複数の市町村もしくは都道府県の地域を対象に、国土交通省の重点的な支援を受けて観光地域づくりを行う事業です。

そこで実践プランでは、地域特性を踏まえた観光戦略に基づき、多様な地域資源を活用し、地域の幅広い関係者が一体となって進める観光地域づくりを、以下のように支援していきます。

(1) 地域の自助努力による観光地域づくりを国土交通省が後押し

地方公共団体やNPO、観光協会等幅広い関係者が協議会を設立し、アクションプログラムの策定や事業の実施を行う、自律的に進める観光地域づくりを国土交通省が後押しします。

(2) 国土交通省は各関係主体の取組みを総合的に支援

観光地域づくりの成功を後押しするため、国土交通省はインフラ整備等のハード施策とディステーションキャンペーン展開等のソフト施策の両面から、地域の進める必要な事業を総合的に支援します。

(3) NPO等民間事業者が実施する事業も支援対象

実践プラン対象地域において、NPO等の民間事業者が進める観光戦略の核となる魅力ある地域づくりの重要な取組み、交流活動等を支援します。

◆観光圏準備型と観光圏整備支援型

(1) 観光圏準備型

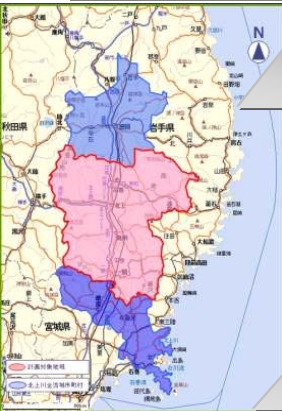
- ・ 募集趣旨：観光地域づくりの立ち上げ段階において、関係主体がハード・ソフト問わず、事業・施策間の整合や連携を図りつつ取り組むための計画づくりを進め、将来的な観光圏の形成を促進する。
- ・ 応募主体：市町村または都道府県、関係事業者、NPO等からなる任意の協議会

(2) 観光圏整備支援型

- ・ 募集趣旨：「観光圏整備計画」を公表（又は、公表を予定）している地域が、社会資本整備と連携し、より効率的・効果的に観光圏の形成を図ることを促進する。
- ・ 応募主体：観光圏整備法第5条に掲げる法定協議会又はそれと同等の組織

○北上川流域観光地域づくり協議会(対象地域:5市4町)《H19選定》

《テーマ》『もっとゆったり、感じるままに』～出会いとふれあいの北上川～



《出会い》
みちのくの大地と
人々の出会い

《北上川》
北上川舟運を軸にし
たゆったり観光



・北上川舟運を観光軸に
・リピーター、滞在型観光
・心と心を繋ぐ観光を

《ふれあい》
自然・歴史文化・風土
人々の暮らしにふれあう

《計画概要》

○北上川舟運を軸とした新たな魅力創出のほか、農山村の暮らしを体験するグリーンツーリズムや郷土芸能などの体験型観光と、平泉文化遺産などの集客力の高い観光資源と連携し、人々の“こころ”と“心”を繋ぐ観光を目指す。

☑ 世界遺産登録が期待される平泉の文化遺産を活用した国際観光への各種取り組みを実施。



☑ 郷土食の伝承と提供、地場産品を活用した新郷土食の提供を実施。



☑ 里山の自然や暮らし・人との交流に着目した観光資源発掘や、体験型観光を実施。



☑ 北上川全域をフィールドとした、北上川舟運の復活に向けた調査を実施。



○環鳥海地域観光交流推進協議会(対象地域:3市1町)《H17選定》

《テーマ》癒しのふるさと・鳥海隠れ家ツーリズム



《ふれあい重視の観光交流》
地元住民による観光案内

《環鳥海地域魅力再発見》
山 湧水 溪谷 文化



・独立峰としては東北一の
高さを誇る鳥海山
・麓の豊かな自然

《地域連携した協働の観光》
行政区を越えた滞在型観光

《元気になる体験型観光》
自然や文化と親しむ体験型観光

《計画概要》

○独立峰として東北一の標高を誇る「鳥海山」とその周辺の豊かな自然を活かし、地元の人しか知らない美しい景観や文化を市民参加で活用しながら、観光客と地元住民とのふれあいを重視した観光交流空間づくりを目指す。

☑ 圏域が連携した広域観光の情報発信として、鳥海山地域の統一した観光パンフレットを作成。



☑ 椛葉鳥海酒、椛葉鳥海炭など地域に根ざした商品開発で椛葉鳥海ブランドを全国に発信。



☑ 既存の施設などを利用し、共通した観光情報で結ぶ 椛葉鳥海案内所」を順次設置。椛葉鳥海道53次のうち約20箇所を検討。



☑ 環鳥海の名所を広重風絵図に表現した椛葉鳥海道53次カードを作成。

